

ふれあい通信

2021
9月号



在宅医療のいまと未来



鈴木院長が予測！ 在宅医療の今後

1986年に在宅医療の原型となる診療報酬が設定され、定期的に家庭を訪問する医療の概念ができました。それから35年、訪問診療を行う診療所数は横ばいですが、1診療所当たりの訪問患者数は増加し、在宅医療を専門に行う医療機関と外来診療の合間に在宅医療を行う医療機関との2極分化が進んでいます。

今後、在宅医療専門の診療所はどのようになっていくのでしょうか。多摩区内の在宅看取り需要の推移や欧米の事例も紹介しながら在宅医療の今後を予測します。



鈴木院長が予測！

在宅医療はどう進化していくのか



たまふれあいグループ
理事長
鈴木 忠

Point!

- 1 在宅医療を行う医療機関／行わない医療機関で2極分化している
- 2 看取り患者数は2倍に増えるが、訪問診療を行う診療所は頭打ちに
- 3 海外に倣い、高度医療が在宅で受けられるようになるのでは



2極分化する医療機関 1カ月100人診る診療所も

近年、訪問診療を行っている診療所の数は横ばいですが、1診療所当たりの訪問患者数は右肩上がりに増加しています **資料1**。まずは在宅診療を行う診療所とそうでない診療所とが明確に分かれてきており、在宅診療を行う診療所はより多くの患者さんを診るようになってきているという2極分化が起きています。



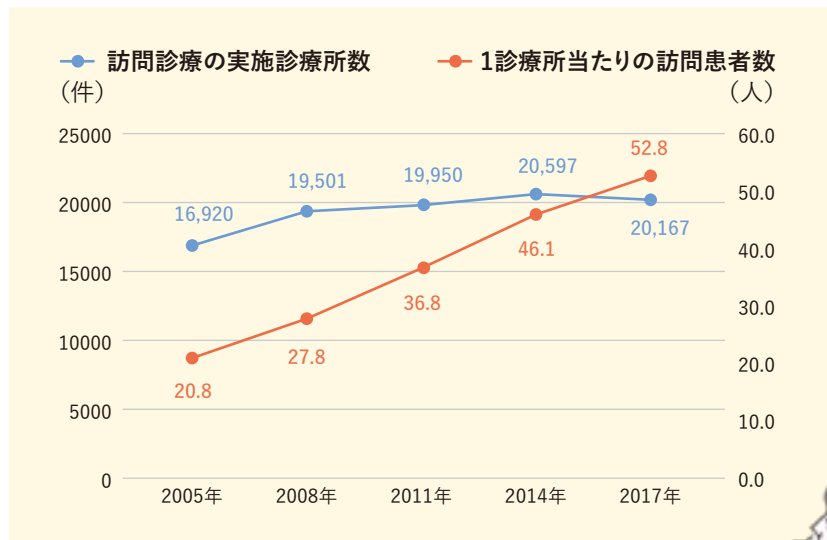
看取り患者数が2倍に しかし診療所数は頭打ち



さらに訪問診療を行う患者数別の在宅支援診療所数は1カ月の訪問患者数が9人以下の診療所が約3割を占めますが、1カ月に100人以上の診療所も1割近く存在しています。外来診療の合間に在宅診療を行う従来型の診療所がある一方で、訪問診療を専門に行う診療所が増えるという2極分化も進んできているということです。

つまり、在宅診療を行う診療所とそうでないものとのメリハリがついてきており、さらに在宅診療を行う診療所の中でも専門特化するものと外来の延長線で行うものとはっきり分かれてきています。

今後さらに2極分化が進むと在宅医療専門のクリニックは生き残っていくのでしょうか。多摩区内の在宅看取り患者数の予測では、10年後の多摩区内の死者数は1・4倍に増えることで、在宅看取り患者数は現在の約2倍に増える計算になります。先述したように、近年訪問診療を行う診療所の数は頭打ちになっており、在宅医療を専門に行う診療所の数が飛躍的に



資料1 訪問診療の実施診療所数と1診療所当たりの訪問患者数
(資料:厚生労働省 医療施設調査:当院分析)



に増えるとは考えづらいことを考慮すると、看取り一つを取ってみても在宅医療専門の診療所だけで地域の医療を支えることは困難だといえます。

病院が入院医療、診療所が外来医療という住み分けが進んできていますが、かといって病院の外来がなくなってしまうということがないのと同じように、むしろ外来を行いながら在宅医療を行う診療所の価値はより重要になってくると考えます。

海外の在宅入院制度に倣う 高度医療を在宅でも



それでは、たまふれあいクリニックのような在宅専門診療所は今後どのようなようになっていくのでしょうか。これを予測していくことはなかなか難しいことですが、今後多くの在宅専門クリニックではこの課題に頭を悩ませることになるのではないかと想像しています。そうした中で参考となるのが、日本よりも早く在宅医療が進んでいる欧米など海外の事例かもしれません **資料2**。

最も先進的に進化しているのはフランスかもしれません。同国では「在宅入院制度」といわれるものがあり、一定の条件の下、在宅に各種の医療機器を持ち

込まれ、医師や看護師などが頻繁に訪問するというものです。同じような制度や仕組みはイギリスやアメリカにも存在します。

日本がこうした欧米の制度と同じようになるかどうかは分かりませんが、少なくとも、より高度な医療、例えばがんの化学療法や手術後の回復期などが在宅で受けられるように進化していくのではないかと予測しています。

もともと江戸時代後期までは医者が各家庭に訪問して診察することが当たり前でした。それが長崎や小石川に設置された養生所といわれる一カ所に患者さんを集めて治療する施設が日本の本格的な病院機能の始まりといわれています。それから100年余り、近年の在宅医療への回帰は大きな医療界の変革の始まりなのかもしれません。

在宅入院制度 (HAD)
フランス

一定の療養ができる自宅環境の下で、遠隔医療機器を導入し入院なみのケアを行う

HCH (hospital care at home)
イギリス

遠隔医療、遠隔監視を駆使して、急性期治療を在宅でも提供するサービス

HITH (hospital in the home)
オーストラリア

入院する必要がある人々に、短期間の在宅急性期治療を提供するプログラム

Virtual hospital (バーチャル・ケア・センター)
アメリカ

遠隔治療関連技術を駆使して数百人の医師、看護師と、病院、診療所、さらには患者の家を結んで医療サービスを提供するようになる。これはリアルな病院を置き換えていくものというよりも、医療サービスを拡張するものと位置づけられている

資料2 海外の在宅医療の例



後悔の少ない道を選んでもらうために

— チームで連携し、ご家族の緩和ケアに努める —

私達看護リハ部は看護師20名、セラピスト8名（PT4名、OT2名、ST2名）の計28名で活動しています。訪問診療・訪問看護が同一フロアにあることで、がん末期の患者さんの治療・緩和ケアがスムーズに行えるので、ご家族やご本人の状態に合わせた訪問を行うことができます。また当クリニックはPCA※ポンプを所有しているため、すぐに痛みコントロールができる環境となっています。

私達在宅の看護師は、どのように過ごしていただければ患者さんのご家族の後悔が少なくできるかを常に考えています。ご家族に「どのような道を選んだとしても後悔は残りません。どの道を選べば後悔が一番少ないかを考えましょう」と伝えます。ご家族に後悔の気持ちを少しでも持たせたいまま、残りの人生を過ごすことのないようにしていただきたいからです。

短期間で悪化するがん末期の患者さんを見て、ご家族から「しんどそうにしていて見てられない。やっぱり入院させた方がいいのでは」「この数日何も食べられないし飲めない。大丈夫でしょうか」といった声が聞かれます。患者さんの急激な体調の悪化に気持ちと対

応が追いつかず、困惑してしまうのです。

そこで私達はご家族で看るのがつらくならないように、さまざまなアドバイスを行います。医師の治療方針を確認し、処方された薬をご家族が適切に使用できるように、内服方法や座薬の使用方法を指導します。呼吸困難感には、顔に風が当たるように扇風機やエアコンの向きを調整し、苦しさを軽減する環境調整を行います。のどの渇きには飲み物の選び方や使用する入れ物、飲ませ方など口腔ケアを指導します。ほかにも楽な姿勢の取り方やオムツ交換の方法なども指導します。

ご家族が家で最期まで看られるように、それぞれの方の介護レベルに合わせ、ご家族ができる介護の範囲での指導を心掛けています。訪問回数や説明、指導、ケア内容についてケアマネジャーをはじめとする皆で協議し、ご家族の緩和ケアに努めています。

ご家族やご本人のちょっとした変化を共有し、医師、看護師、セラピスト、ケアマネジャー、相談員が連携し、後悔の少ない道を選ぶようにご家族を支えています。それが私達の誇りです。



看護部長 佐藤 奈緒子



※PCA:患者さんが痛みのあるときに患者さん自身で操作して安全かつ効果的な量の鎮痛剤をすぐに投与できる方法

Episode.1

故人を偲ぶ最期のお風呂

ある病院の相談員より「CO₂ナルコーシス※を起している可能性あり、呼吸不全末期状態のため訪問してほしい」と相談があり、訪問診療と訪問看護が開始となったご利用者のお話です。

入浴が大好きな方であり、訪問看護で入浴介助を行っていました。「入浴は訪問看護のときに」という約束で退院されましたが、奥様の見守りの下で浴槽に漬かっていたようです。

ある日訪問すると「待ってたんだよ、心配だったから入らなかつたんだ。最近苦しくなるからね」と迎えられました。調子がよくない様子もあったため、入浴は奥様と相談し、訪問看護のときに入浴すると決めてここ数日は我慢されていたそうです。苦しくなる可能性があること、状況に応じて早く上がることを説明し、浴室へ移動しました。

しかし浴槽に入るとすぐに強い呼吸困難感の出現があったため、ベッドに戻り呼吸介助を行うも、身の置き場のない様子で状態が落ち着きませんでした。奥様へご意向を確認すると「病院へは行かない」とのことで診療に連絡。次第に意識レベル、血圧も低下し、そのまま呼

吸停止。その間はずっと奥様と声を掛け続けました。すぐにご家族がいらっしゃり「お風呂が好きなんだから最期の最期までお風呂に入れたなんて、うれしかっただろうね」などと集まった皆さんで話されていました。

「いつ何があってもおかしくない」という説明はしていたものの、急な逝去となつてしまったため、奥様の様子が気になりました。後日グリーンケアのためご自宅へ伺いました。奥様は「こうやってお父さんがいなくなつたあとも気に掛けてくれてうれし

いわ。またいつでも来てね」と笑顔を見せてくださいました。逝去が訪問中の出来事だったため「あのとき入浴をしない判断をしていればと何度も悔いていました。ご家族から「本当にお風呂が好きなんだから、お父さんはあの日入らせてもらえて本当に感謝していると思うよ」と言っていただけで、気持ち少し楽になったことを覚えています。逝去から3年以上経過しましたが、今後も折に触れて連絡を取っていききたいと思

います。訪問看護師 堀口睦美



※CO₂ナルコーシス:CO₂が体内にたまり、意識障害が出現する病態

Episode.2

言葉のちから

2017年12月、当院へ紹介があったときには、すでに経口摂取は禁止、経鼻経管チューブより栄養投与されている状態でした。元ヘルパーの娘さんが同居して介護を続けていました。

「要介護4・全介助」で意思疎通ができず、追視や吸引時に発声する程度の状態でした。しかし、同居の娘さんは「私はヘルパーをやっていたから」と訪問入浴と福祉用具以外のサービスは入れようとせず、昼夜問わず一人で介護を続けていました。

診療時、娘さんの表情に疲労感があったので「ほかのご姉妹に頼んで短時間でもお母様のそばを離れてご自分の時間を作った方がいいのではないですか」「娘さんが疲れてしまつては、お母様がここにいらなくなつてしまつたら、短期間シヨートを使ってみては？」と何度もお話ししましたが「自分一人で母を看てあげたいので結構です。何もなときは横になつていきます」とかたくなでした。

初診から約1年後にご逝去。看取りの訪問に同行した看護師から「娘さんは泣くこともなく、とてもすっきりした様子でした。小さいときの話や、ご姉妹

私達の声掛けがグリーンケアにつながる

の話をしながらエンゼルケアも一緒に行いました」と聞いて、安堵しました。

その後一周忌のお花とお手紙を送つた際にお返事をいただきました。「あのとき、佐藤さんに『お母様にとって、娘さんが自分のために疲れているのを見ることがとてもつらいこと』とお母様のことを思っているのは分かりますが、お母様のために休んでください。後悔しない介護はないけど、より後悔が少ない道を選んでください」と言われたことがうれしかった。おかげでもう少し休むようにしよう、そして頑張ろうと思えて、最期まで介護できました。家で看られて本当によかったです」と書いてありました。お母様を看取ったあとはヘルパーの仕事も再開されたようです。声掛けはグリーンケアで行ったことでしたが、お手紙に私が救われ、私達のグリーンケアになりました。

私達のひと言が、言葉となり、ご家族やご本人、そして私達のグリーンケアにつながると思

看護部長 佐藤 奈緒子



落語家 林家たい平 師匠 WEB講演会

予告編
公開中



笑顔のもとに笑顔が集まる
～ままならない日常の中で～

視聴
期間

2021年
10月22日(金)～11月4日(木)

視聴無料

2週間限定録画配信!

視聴にはお申し込みが必要です

お申し込み締め切り **2021年11月1日(月) 18:00**

パソコンでも スマホでも!

お申し込み方法

スマホをお持ちでない方、ガラケーの方でもOK。
パソコンからも、お手軽に最短2分でお申し込み可能!

パソコンから

1 当グループのHPにアクセス

URLを入力

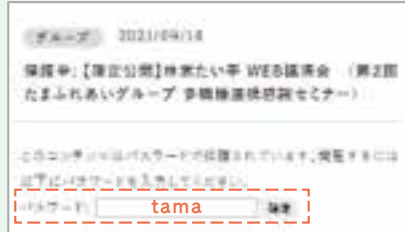
<https://tama-fureai.com/news/1122/>

または

たまふれあいグループ感謝セミナー

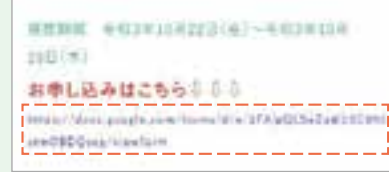
で検索

2 パスワードに **tama** と入力



3 記事内のリンクをクリック

→お申し込みフォームへ



4 お申し込みフォームを入力し、 ページ最下部の 送信をクリックして完了!



スマホから

1 スマートフォンで QRコードを読み込む



2 お申し込みフォームを 入力し、ページ最下部の 送信をクリックして完了!



「回答を送信しました」と表示されれば完了です。

配信期間中に視聴方法をお送りします。視聴期間内であればいつでもご覧いただけます。

皆様のお申し込みを心よりお待ちしております!

インタビュー

臨床宗教師 谷山 洋三 先生

経歴

東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。専門は臨床死生学。2000年～2003年まで長岡西病院ビハラー病棟にビハラー僧として勤務。四天王寺大学准教授、上智大学グリーンケア研究所主任研究員を経て、2012年4月より東北大学大学院文学研究科准教授。2021年4月より同教授。



「癒やしてあげよう」ではなく、
目の前の相手に愛を持って関わる気持ちが大切

医療機関や福祉施設などで、心のケアをする宗教者である臨床宗教師。終末期を迎える患者さんご本人、その看取りに臨むご遺族や看護・介護スタッフのケアを、どのような姿勢で取り組んでいるのかをお伺いしました。

臨床宗教師とは

被災地や地域社会、あるいは医療機関や福祉施設などの公共空間で、心のケアを提供する宗教者のことです。2011年の東日本大震災で遺族の宗教的な心のケアを行える専門家の必要性が高まり、2018年に一般社団法人日本臨床宗教師会が「認定臨床宗教師の資格認定を開始しました。」

臨床宗教師は公の場で活動するので一般的な宗教者の立場とは異なり①布教伝道を目的としない ②傾聴を基本とする心のケア ③宗教間協力を前提とする ④信徒以外の相談にも応じる ⑤「臨床宗教師」の倫理綱領を遵守する の主に5つの方針の下で活動しています。

ご本人「遺族の心を癒やすために

相手の心や気持ちに寄り添って関わろうとすることが大切です。相手を「癒やしてあげよう」と思わず、今、目の前にいる相手に愛を持って一生懸命に関わろうとすることを常に意識するようにしています。相手の言葉に心から耳を傾け、どのような思いを込めたメッセージなのかを深く考えます。重い悩みを抱えている人は、とても答えられない

ようなことを、答えが欲しいような体で問い掛けてくる場合があります。返す言葉に困って、落ち込んでしまうスタッフの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しばらく時間を置くことも必要ですが、臨床宗教師を呼んでみるのも一つの手段です。現場のスタッフではできない心のケアを私達が担うことで、スタッフの精神的な負担を減らすことができます。

医療・介護スタッフへのケア

医療・介護スタッフはケアを受けるべき存在だという自覚が必要です。セルフケアをすべき職種であることを意識してください。日頃気を付けてもらいたいのは、スマートフォンを絶対に家庭に持ち込まないこと。終業後、携帯をデスクに置いたら「プライベートの自分に戻ると気持ち切り替えてください。切り替えが付かないときは「水に流す」という意味で手洗いや皿洗いをしてみるのもおすすめです。

1年半続く新型コロナウイルスの影響で、医療・介護従事者の皆さんは背負わなくてもよいプレッシャーまでを背負ってしまい、多くのストレスを溜め込んでいるかと思えます。できる範囲でよいのでセルフケアに努めていただき、少しでも穏やかな心で過ごしてください。

たまふれあいグループ サービスの空き状況 (2021年9月1日現在)

記号の見方 ◎十分空きあり ○空きあり ▲残りわずか ▲要相談(待機者少ない) ×空きなし

訪問診療	訪問看護ST					居宅介護支援事業所	たまふれあいの家			たまふれ!		
	看護	リハビリ			認知症デイ		看多機	グループホーム 枳形	グループホーム 登戸新町	障害者計画相談支援	障害者就労継続支援B型	障害者就労移行支援
		PT	OT	ST								
	◎	▲	▲	▲	▲	○	◎	◎	▲	▲	○	○

多様な症状・医療処置対応

胃・腸ろう／経鼻胃管／気管切開／喀痰吸引／TPN管理／バルン・ストマ／重度褥瘡／呼吸器管理 ほか

地域相談室直通電話番号

044-931-0220

ご相談・お問い合わせ
いつでもお待ちしております

全力×相談員

フジタがゆく!

地域相談室 相談員 藤田 杏



丁寧なヒアリングで
全人的な医療を目指す

診療部

杉浦 ちとせ 医師

こんにちは! 相談員のフジタです♥

10月からデイサービスが移転リニューアルしました!
早速、私も機器を楽しく体験してきました(^ ^)
ダイエットのチャンス!!と張り切っちゃいました(笑)
ぜひぜひ見学やお問い合わせをお待ちしています♪

デイサービスに
新たに導入された
機器を体験♪



さて、今回は訪問診療で絶賛活躍中の杉浦医師にインタビューしました。「丁寧にお話を聞いて、チームで全人的な医療を目指していくこと」をモットーにしている杉浦医師は、穏やかな雰囲気が印象的です。もともと緩和ケア科で勤務後、夫と開業する傍らで在宅ホスピスも経験してきました。

「在宅では、患者さんの安心と生活を支えるため、各職種一丸となって進んでいけることに自分自身も支えられていると感じます」と語ります。「疾患も多岐にわたるため、オールマイティーな実力をつけること、また速やかに的確な判断ができる医師を目指したい」と、とても熱い想いが感じられました。

そんな杉浦医師の趣味はテレビ鑑賞で、ドラマから映画までジャンルを問わず楽しめるとのこと。最近では料理や収納術を学んでいるそうです。

おいしいもの大好き!
自分でもおいしいものが
作れるように
勉強しています。



杉浦医師(左)と
片柳医師。
患者さんの情報共有を
欠かしません。



愛犬のクッキーちゃん(2代目)。
もう1匹、下半身不随の
メイちゃんを飼っています。
8年介護を頑張っています。



ケアマネ、MSWの皆様、いつもありがとうございます。今後もいつでもどんな情報でもいただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

診療部 医師
杉浦 ちとせ

東北人 フジタのつぶやき

痩せて 「かわいくなる」!
めんこくなる!
三日坊主にならないように♪



たまふれあいグループ
Tama Fureai Group

たまふれあいクリニック
Tama Fureai Clinic

たまふれあい
訪問看護ステーション

たまふれあいの家
Tama Fureai Home

たまふれあい
居宅介護支援事業所

たまふれ!
Tama Hurray!

たまふれあいの森
Tama Fureai Forest



044-931-0220

〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1763
ライフガーデン向ヶ丘2F

ふれあい通信は、地域相談室のメンバーがつくる「地域とつながる」会報誌です